

ホームグラインダーX54 取扱説明書 / 保証書



X54

ALLROUND HOME GRINDER



メリタジャパン株式会社

 0570-550267

受付時間: 9:00~12:00 / 13:00~17:30
(土日祝日・年末年始を除く)

Melitta[®]
JAPAN

はじめに

このたびは、「マールクーニック ホームグラインダーX54」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P3~6)をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書／保証書(本書)は大切に保管してください。

目次

1 製品の特長

P2

2 安全上のご注意

P3

3 製品概要

3.1 各部名称	P7
3.2 付属品	P7
3.3 設置	P8
3.4 電源の接続	P8
3.5 グラインダーの取り扱い	P8

4 クイックスタートガイド

(コーヒー豆をドリップコーヒー用に挽いてみる場合)

4.1 開梱・本体の設置	P9
4.2 ドリップコーヒーモジュールの取り付け	P9
4.3 ホッパーを本体に取り付けて コーヒー豆を充填する	P10
4.4 電源を入れて豆を挽く	P10

5 グラインダーの仕組み

5.1 本体の基本操作	P11
5.2 挽き時間設定モードの 基本設定(初期設定)	P12

6 各部の使い方

6.1 ホッパーの使い方	P12
6.2 ホッパーの挿入	P13
6.3 ホッパーの取り外し	P13
6.4 コーヒー豆の充填	P14

7 基本的な操作手順

7.1 モジュールの選択	P14
7.2 操作手順の概要	P15

7.3 グラインダーの電源を入れる	P16
-------------------	-----

7.4 挽き時間設定モード・ 手動モードの選択	P16
----------------------------	-----

7.5 挽きプロセスの開始	P16
---------------	-----

7.6 挽きプロセスを 手動で停止または中断する	P16
-----------------------------	-----

8 エスプレッソコーヒー用に挽く

8.1 エスプレッソモジュールの高さ調整	P17
8.2 エスプレッソモジュールの着脱	P17
8.3 エスプレッソモジュールによる挽き	P18
8.4 ポルタフィルターで挽きを 手動で停止する	P18

9 挽き目と挽き時間の設定

9.1 挽き目の設定	P19
9.2 挽き時間の設定と更新	P19

10 終了とスリープタイマー

10.1 グラインダーの電源を切る	P20
10.2 スリープタイマーの使用	P20
10.3 グラインダーを 手動でスリープモードにする	P20
10.4 スリープタイマーの時間設定	P21

11 クリーニング

11.1 グラインダー底部のクリーニング	P21
11.2 本体のクリーニング	P22
11.3 ホッパーのクリーニング	P22
11.4 挽き機構のクリーニング	P23

12 トラブルシューティング

P24

13 メンテナンスと修理

P25

14 別売品/仕様

P26

15 保証規定(保証書)

P27

1 製品の特長

80年以上の歴史を誇り、業務用グラインダーの代名詞的存在となっているドイツのリーディングブランド「マールクーニック」。「X54」は、マールクーニックがホームバリスタのために開発したオールラウンド ホームグラインダーです。

1 あらゆる抽出方法にマッチする挽き目調整ダイヤル

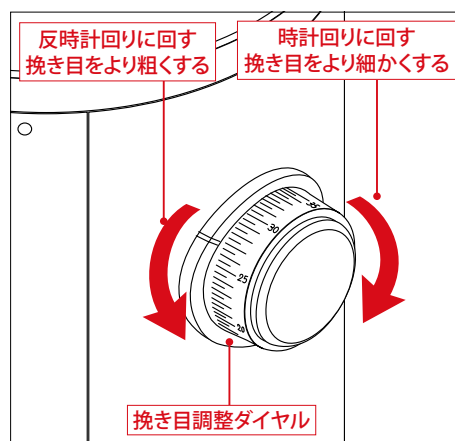
挽き目調整ダイヤルを使い、目的の挽き目を01から35のレンジで無段階で調整可能です。

挽き目の目安

エスプレッソ……01～05

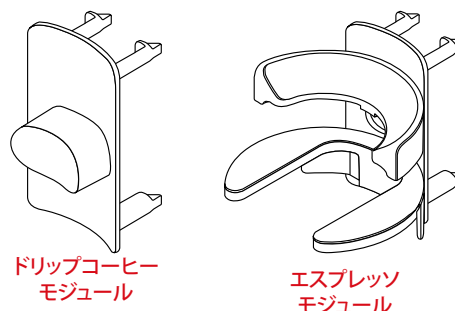
ドリップコーヒー……15～25

フレンチプレス……25～35



2 2つの抽出方法に合わせたモジュール

ドリップコーヒーとエスプレッソの2つの抽出方法に合わせたモジュールをご用意しています。



3 メニュー設定が分かりやすいLEDディスプレイ

「手動モード」に加え、挽き時間を0.1秒～90秒の間で、4つまで登録していただける「挽き時間設定モード」をご用意しています。表示がくっきりと見やすいLEDディスプレイで各設定をスムーズに行えます。

挽き時間1

6秒

挽き時間2

30秒

挽き時間3

20秒

挽き時間4

10秒

工場出荷時には、挽き時間設定モードは6秒、30秒、20秒、10秒に設定されています。

4 54mmのスチール刃で安定した挽き目を実現

1杯8gで75,000杯相当を挽くことのできる耐久性のあるスチール刃を使用しています。スチール刃の交換は、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

5 70dB未満の静音設計

2 安全上のご注意

ご使用の前によくお読みのうえ、
正しくお使いください。

誤った取り扱いをしたときに想定される内容を
「警告」と「注意」に区分して説明しています。



警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容



注意 傷害を負う可能性や物的損害の
発生が想定される内容

お守りいただく内容の種類を
下の図記号で説明しています。



してはいけない内容



必ず守ること



警告 火災や感電、けがを防ぐために

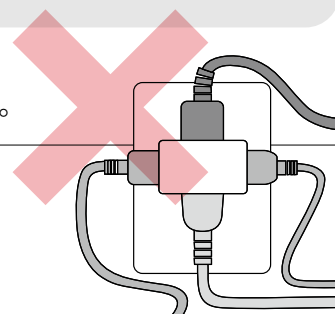
電源について 守らないと火災・感電の原因に



● 定格15A以上のアース端子付きの壁コンセントに本機単独で直接差し込む。



- 交流100V以外では使用しない。
- コンセントを他の器具と併用しない。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしない。



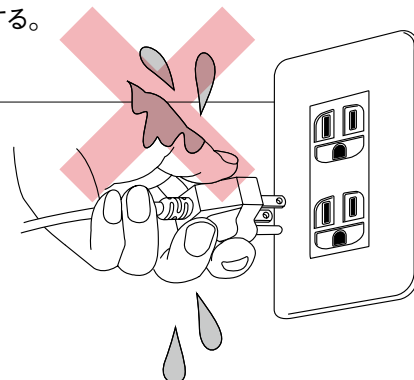
電源プラグ 従わないと感電・ショート・発煙・発火の恐れ



- 電源プラグのほこりなどの汚れは、プラグをコンセントから抜き、乾いた布で定期的に拭き取る。
- 電源プラグを抜くときはコードを持たず、プラグ本体を持って抜き差しする。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。



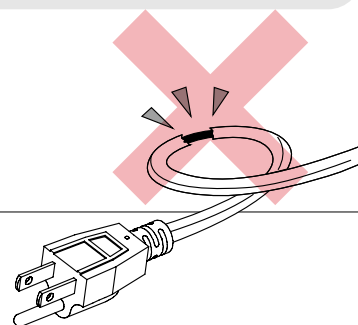
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグに水滴をつけない。
- 傷んだ電源コードや電源プラグの差し込みが緩いときは使用しない。
- 電源プラグにピンやごみを付着させない。
- 電源プラグを舐めない。



電源コード 気を付けないと感電・ショート・発煙・発火の恐れ



- 電源コードを傷つけない。
- 傷んだコードは使用しない。
- コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。



- 電源コードは束ねたり、無理に曲げたり、端が鋭い場所の上に置かない。
- 電源コードを持って本体を運ばない。

アース 接続しないと漏電時に感電の恐れ



- アース線は必ず壁コンセントのアース端子に接続する。



- アース線は延長しない。
- アース線は水道管、ガス管、建物の金属部分に接続しない。

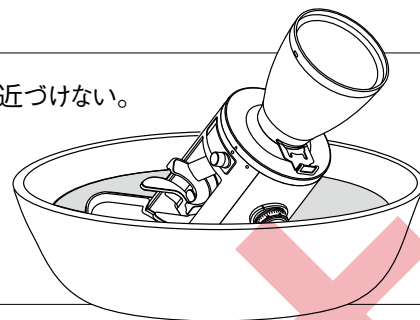
本体 正しく扱わないと感電・火災・けがの原因に



- 異常を感じたり、故障したりした場合は直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて使用を中止する。
- 電源プラグやケーブルが傷んでいたり、故障や異常があった場合は使用を中止し、メリタジャパンお客様相談室に連絡する。



- 運転中にフタを開けてホッパー内部の豆やカッターに触れたり、顔を近づけない。
- 改造しない。
- 自分で分解・修理はしない。
- 自分で電源プラグを取り替えない。
- 本体を水に浸けたり水をかけたりしない。



- 濡れた手で電源スイッチを入れたり、本体・電源プラグに触れない。

子供 守らないと事故の危険が



- 子供だけで使用させない。



- 子供の手の届くところで使用しない。
- 子供の手の届くところに保管しない。



- 包装フィルムで子供が遊ばないように注意する。

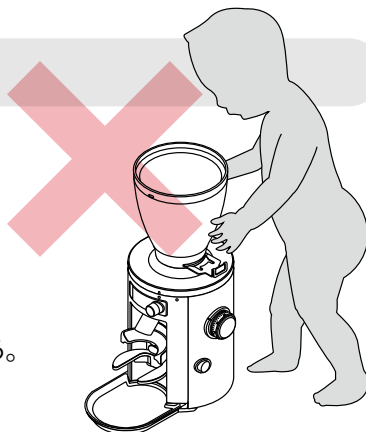


注意 火災や感電、けがを防ぐために

子供・乳幼児 守らないとやけどや感電の危険が



- 子供が本機で遊ばないように注意する。
- 電源コードを子供が引っ張らないように注意する。
- 乳幼児が誤って電源プラグを舐めないように注意する。
- 運転中は、乳幼児が本機に近づかないように注意する。
- 乳幼児がパーツ類で遊んだり、小さな部品を飲み込まないように注意する。



使い方 守らないとやけどや感電の危険が



- 取扱説明書をよく読んで操作を理解してから使用する。
- 本機の操作方法を理解していない人に使わせない。
- 使用しない時は電源プラグを抜く。
- 運転中は本機の前から離れない。



- ガスレンジまたはストーブなど暖房器具の近くやホットカーペットの上で使用しない。
- 湿気の多い場所では使用しない。
- 屋外では使用しない。



- 使用前にホッパーに異物が入っていないか確認する。

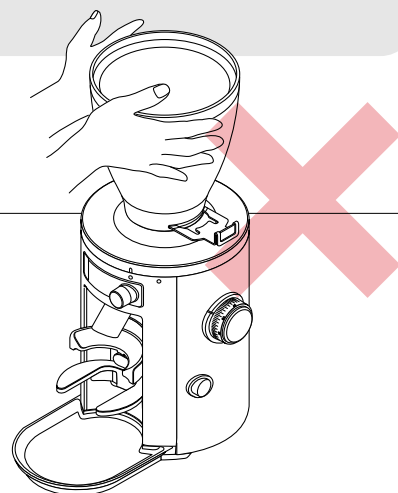
使い方 守らないと故障の原因に



- ホッパーを持って本体を持ち上げない。
- コーヒー豆を入れたまま長期間放置しない。



- ホッパーからコーヒー豆をあふれさせない。
- ホッパーにローストしたコーヒー豆以外のものを入れない。
- 保護スイッチを指で押して強制的に使用しない。
- ローストしたコーヒー豆を挽くこと以外の目的で使用しない。
- 製品に付属しているか、メリタジャパンが推奨しているアタッチメント以外は使用しない。



本体 正しく扱わないと感電・火災・けがの原因に



- パーツの取り付け・取り外しを行うときは、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行う。



- 落としたり、硬いものにぶつけない。
- 電源コードが熱を持ったものに触れたり、近づかないように注意する。
- 電源を入れたまま放置しない。使用後には電源を切る。

設置 守らないと感電・火災・けがの原因に



- 頑丈なテーブルなど安定した平らな家具の上に設置する。
- コードがテーブルやカウンターの端にかからないようにする。
- 本体、コード、電源プラグに水がかからないような場所に設置する。



- 不安定な場所に設置しない。
- 傾いた場所、高い場所に設置しない。
- たたみ、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱い敷物の上に設置しない。
- オープン、暖房器具、コンロなど熱源の近くに設置しない。
- 湿気の多い部屋や流し台の近くに設置しない。



- 開梱時や梱包時に落としたり、硬いものをぶつけないよう注意する。

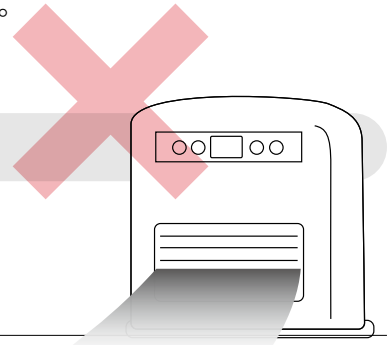
お手入れ 守らないと感電・故障の原因に



- お手入れは取扱説明書の指示に従い、パーツを取り外して行う。
- お手入れは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから行う。



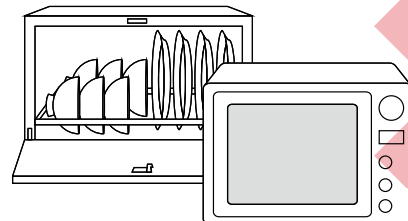
- パーツ類は食器洗い乾燥機で洗淨しない。
- パーツ類の乾燥に電子レンジを使わない。
- 本体に直接水をかけない。
- カッターは鋭利なので直接手で触れない。



廃棄 守らないと近隣・行政の迷惑に

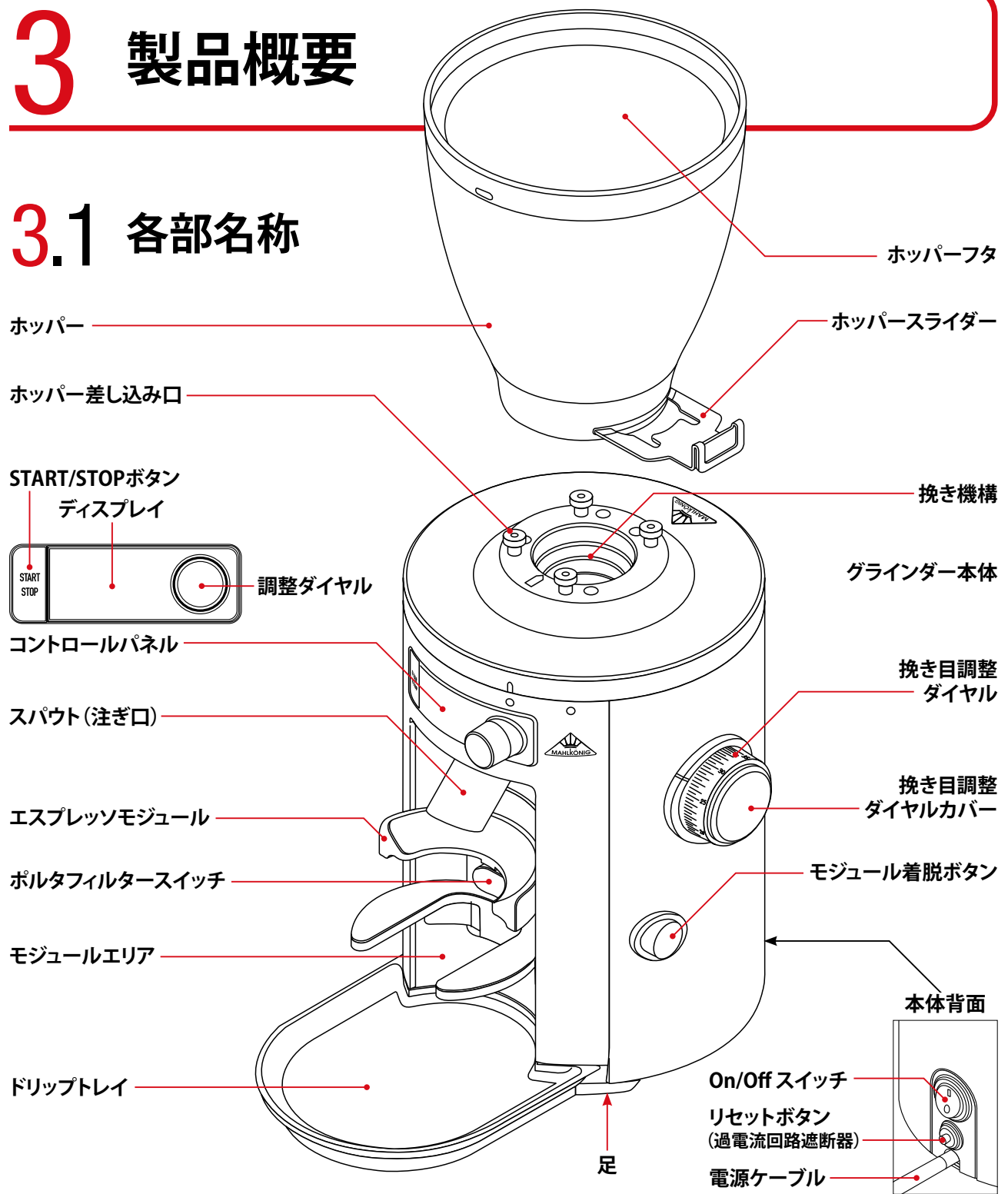


- 廃棄する場合は市町村のごみ出し基準に従う。



3 製品概要

3.1 各部名称



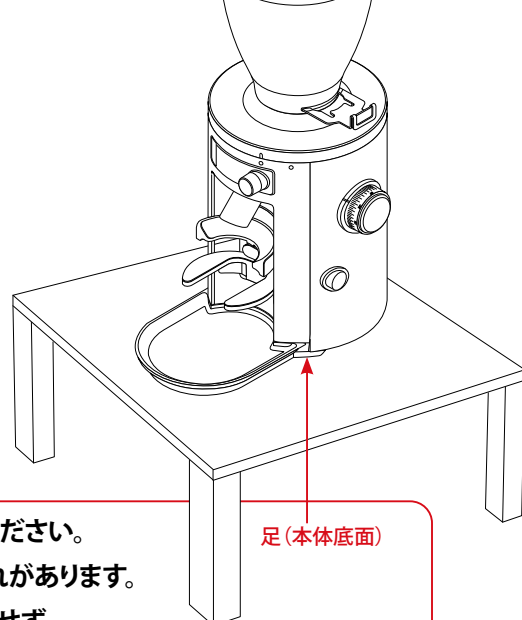
3.2 付属品



3.3 設置

以下の条件を満たす場所をグラインダーの設置場所として選んでください。

- ・設置表面が水平で安定しており、振動がない。
- ・設置場所は滑りにくく、乾いている。
- ・電源接続用のコンセントが手の届くところにある。
- ・小さな子供がグラインダーと電源コードに触れないようになっている。

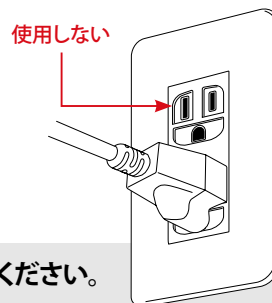


注意

- ・本体を取り出すときに直接カッターに触れないように注意してください。カッターの刃は非常に鋭利なため、直接触れるとケガをする恐れがあります。
- ・本体やパーツ類に損傷があったり、その疑いがある場合は使用せず、メリタジャパンお客様相談室にご連絡ください。

3.4 電源の接続

- ・電源プラグは壁コンセントに単独で差し込んでください。
- ・壁コンセントの余っている差し込み口には何も接続しないでください。



information

電源プラグを接続する壁コンセントは使用中にすぐに手の届く場所に接続してください。
(使用中に異常が起きた場合は電源プラグをすぐに抜いてください。)



注意

電源コードは子供の手が届かない場所に通してください。
(子供が引っかけて、グラインダーが落下すると大ケガをする恐れがあります。)

3.5 グラインダーの取り扱い



information

グラインダーを持ち上げたり移動したりするときは、必ずグラインダー本体を持ってください。
グラインダーを一番確実に扱うことができ、グラインダーの壊れやすい部分*を誤って損傷させるリスクを避けることができます。

1 グラインダーは、**足**でしっかりと設置する必要があります。ぐらつかないようにしてください。

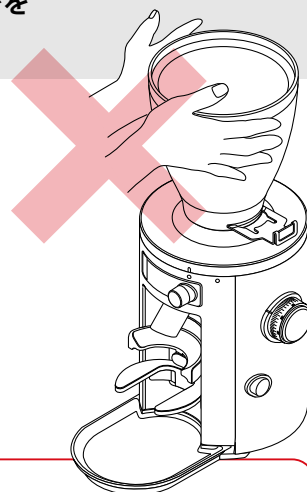
2 **ドリップトレイ**を**グラインダー**前面のスパウトの下にある本体の凹部に置きます。ドリップトレイは本体の凹部の正しい位置に固定されます。

*誤作動、誤調整がないようにすべき部品(ホッパー、START/STOPボタン、スパウトなど)と、過負荷や不適切な負荷がかかる場合に破損する恐れのあるドリップトレイの本体の凹部の両方を指します。



注意

ホッパー部分を持って持ち上げると、ホッパーが抜けて本体が身体にあたったり、思わぬケガをすることがあります。必ずグラインダー本体部を保持して移動させてください。

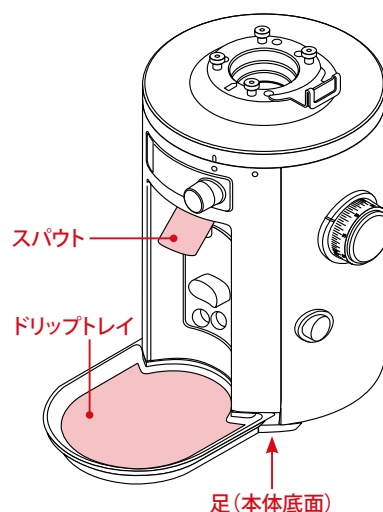


4 クイックスタートガイド

コーヒー豆をドリップコーヒー用に挽いてみる場合

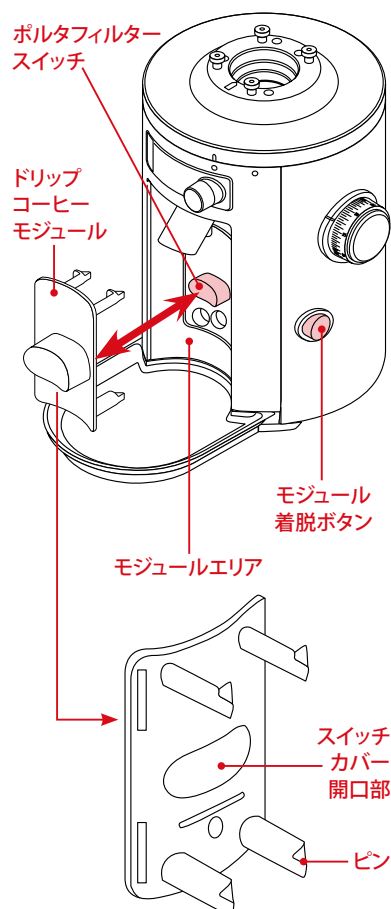
4.1 開梱・本体の設置

- 1 パッケージを開いたら、グラインダー本体と付属品すべてを取り出します。すぐに付属品に不足がないか確認してください。→P7…3.2「付属品」
本体、パーツ類、電源コードなどに損傷がないかを確認して、グラインダー本体を安定した台に設置してください。→P8…3.3「設置」
- 2 ドリフトレイをグラインダー本体前面のスパウトの下にある凹部に置きます。ドリフトレイは本体の正しい位置に固定されます。



4.2 ドリップコーヒーモジュールの取り付け

- 1 工場出荷時はモジュールエリアにエスプレッソモジュールが装着されています。本体側面のモジュール着脱ボタンを押し続けると、ロックが解除されます。ポルタフィルタースイッチがエスプレッソモジュールの開閉口と接触しないように、スムーズにスライドさせて取り外します。→P18…8.2「エスプレッソモジュールの取り外し」
- 2 ドリップコーヒーモジュールをモジュールエリアに正しく合わせます。モジュール背面の4つのピンをモジュールエリアの穴と合わせ、スイッチカバー開口部がポルタフィルタースイッチの前になるようにします。
- 3 側面のモジュール着脱ボタンを押したまま、ドリップコーヒーモジュールをモジュールエリアに押し込みます。モジュール背面の4つのピンが、モジュールエリアの穴に入ります。ポルタフィルタースイッチが、モジュールのスイッチカバーにスムーズにスライドするように装着します。
- 4 モジュール着脱ボタンを離します。ドリップコーヒーモジュールがモジュールエリアにはめ込まれ、正しいポジションに固定されます。



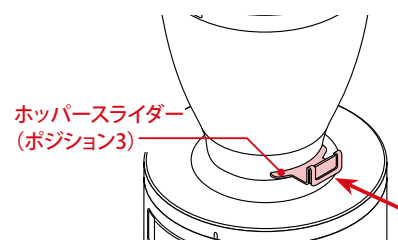
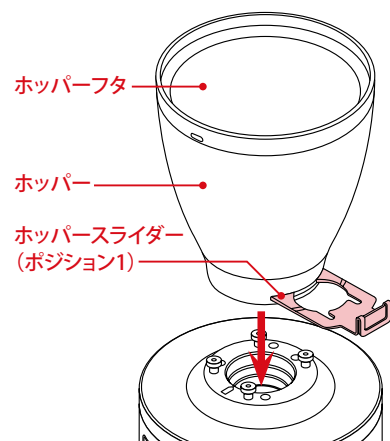
ドリフトコーヒーモジュール(背面)

ドリフトコーヒーモジュールの取り外し

- 1 側面にあるモジュール着脱ボタンを押し続けると、ロックが解除されます。
- 2 モジュールエリアからドリフトコーヒーモジュールを前方向に慎重に取り外します。ドリフトコーヒーモジュールをモジュールエリアから引き出す際に、ドリフトコーヒーモジュールが傾かないようにしてください。ポルタフィルタースイッチが、モジュールのスイッチカバーにスムーズにスライドするように抜き取ります。

4.3 ホッパーを本体に取り付けて コーヒー豆を充填する

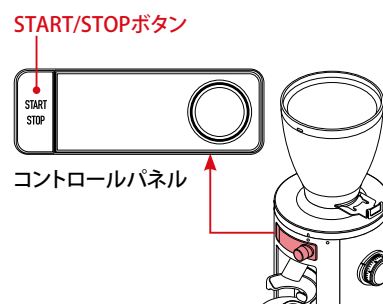
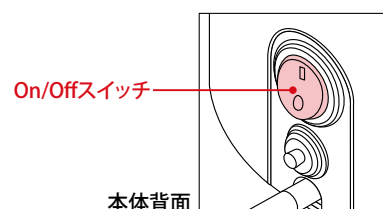
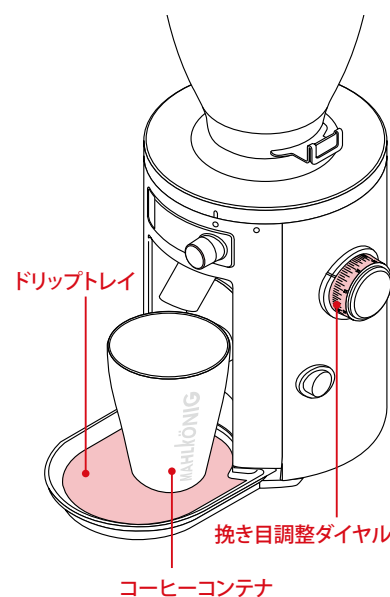
- 1 グラインダーに**ホッパー**を挿入します。→P13…6.2「ホッパーの挿入」
- 2 ホッパーから**フタ**を外し、ローストしたコーヒー豆をホッパーの上部から入れます。
- 3 フタをホッパーに戻し、ガイドの**ホッパースライダー**を止まるまでホッパー内に押し入れます（ポジション3）。スライダーによりホッパーの豆がグラインダー内部に落ちる状態になります。→P13…6.2「ホッパーの挿入」P.14…6.4「コーヒー豆の充填」



4.4 電源を入れて豆を挽く

- 1 **コーヒーコンテナ**を**ドリフトレイ**にセットします。
- 2 グラインダーの電源が切れていることを確認してください。グラインダー背面の**On/Offスイッチ**がO (OFF) の位置になっている必要があります。その後、電源プラグを壁コンセントに単独で差し込んでください。（必要に応じてプラグアダプターをご使用ください）→P8…3.4「電源の接続」
- 3 On/OffスイッチをI (ON) の位置にして、グラインダーの電源を入れます。（初期設定は「手動モード」になっています）→P16…7.4「挽き時間設定モード・手動モードの選択」
- 4 **挽き目調整ダイヤル**を「15」に設定します。→P19…9.1「挽き目の設定」
- 5 **START/STOPボタン**を押して試し挽きをしてください。（5秒）
- 6 杯数に応じてコーヒー豆を挽いてドリップコーヒーをお楽しみください。挽き目調整ダイヤル15～25では、1秒当たり約2gのコーヒー豆を挽くことができます。

* エスプレッソを淹れたい方は、P17-18をご参照ください。

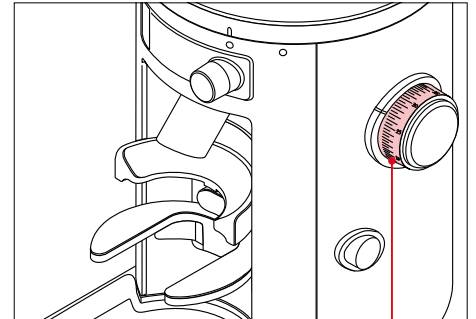


初めて使用する前にホッパーを洗淨する場合は、湿らせた布でホッパーの内側と外側、フタを拭いて乾燥させてから本体に挿入してください。→P22…11.3「ホッパーのクリーニング」

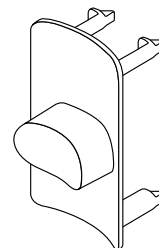
5 グラインダーの仕組み

5.1 本体の基本操作

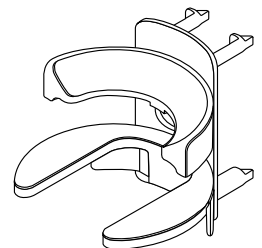
- 1 本グラインダーは、コーヒー豆をさまざまな挽き目(細～粗)で挽くことができます。→P19…9.1「挽き目の設定」 側面の**挽き目調整ダイヤル**を使って挽き目を設定します。
- 2 ドリップコーヒーやエスプレッソの抽出方法により、**ドリップコーヒーモジュール**か**エスプレッソモジュール**のどちらかを使用します。→P14…7.1「モジュールの選択(ドリップコーヒーモジュールまたはエスプレッソモジュール)」
- 3 グラインダーは、挽き時間設定モードか手動モードで使用できます。
- 4 挽き時間設定モードでは、1 回に挽くコーヒーの量(コーヒー粉量)を挽き時間で設定します。最大 4 種類の挽き時間を設定できます。→P19…9.2「挽き時間の設定と更新」 指定された挽き時間になると、自動的に挽きプロセスが終了します。**調整ダイヤル**を使って、目的の挽き時間を選びます。
- 5 手動モードでは、**START/STOPボタン**を押し、手動で挽き時間を調整できます。
- 6 エスプレッソモジュールでは、グラインダーには**ポルタフィルタースイッチ**があり、ポルタフィルターを挿入すると、挽きプロセスが自動的に始まります。ポルタフィルターを引き出せば、挽きプロセスをいつでも止めることができます。
- 7 ドリップコーヒーモジュールを使用する場合、ポルタフィルターのスイッチはロックされます。START/STOPボタンを押して手動で挽きプロセスを開始できます。設定された挽き時間が終わる前に、再度START/STOPボタンを押すと、挽きプロセスをいつでも止めることができます。



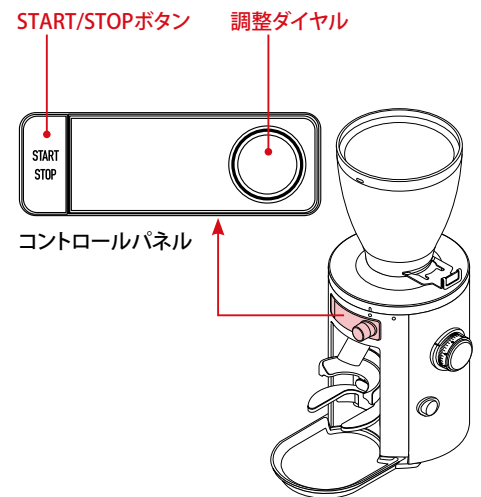
挽き目調整ダイヤル



ドリップコーヒーモジュール



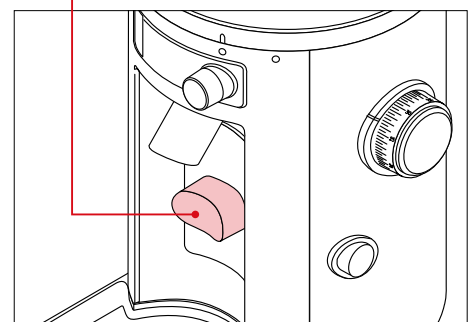
エスプレッソモジュール



START/STOPボタン 調整ダイヤル

コントロールパネル

ポルタフィルタースイッチ



5.2 挽き時間設定モードの基本設定(初期設定)

出荷時に以下の挽き時間があらかじめ設定されており、挽き時間設定モードで使用できます。

→P.16…7.4「挽き時間設定モード・手動モードの選択」 P.19…9.2「挽き時間の設定と更新」

挽き時間1

6秒

挽き時間2

30秒

挽き時間3

20秒

挽き時間4

10秒

6 各部の使い方

6.1 ホッパーの使い方

ホッパースライダーには、ホッパーのガイド内にポジションが3か所あり、ポジション間をスライダーが動きます。

ポジション1 スライダーを最大まで引き出した状態

ホッパースライダーがこのポジションにあると、ホッパーはホッパー差し込み口に固定されません。ホッパーを取り付けたり、取り外すときには、ポジション1にしてください。

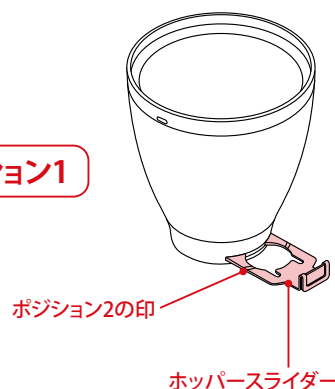
ポジション2 スライダーを印のところまで押し込んだ状態

ホッパーが、スライダーによってホッパー差し込み口内のこのポジションに固定され、コーヒー豆がグラインダー本体に落ちていかない状態です。グラインダー本体に残っているコーヒー豆が空になるまで挽く場合は、ポジション2にしてください。

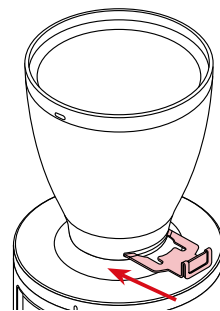
ポジション3 スライダーを最大まで押し込んだ状態

ホッパーが、ホッパー差し込み口のスライダーによってこのポジションに固定され、コーヒー豆がグラインダー本体に落ちる状態です。通常の挽きの場合はポジション3にしてください。

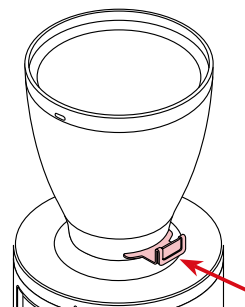
ポジション1



ポジション2

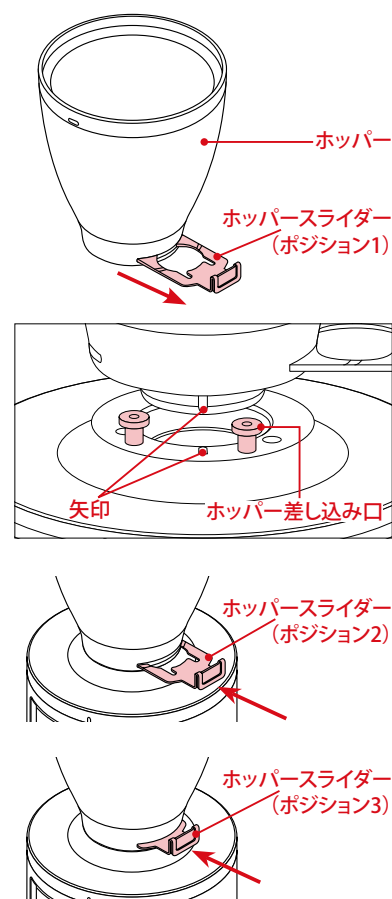


ポジション3



6.2 ホッパーの挿入

- 1 **ホッパースライダー**をホッパーのガイドから出せるところまで引き出します。ホッパーは、スライダーが**ポジション1** (最大に引き出した状態)にあるときのみ取り付けことができます。
- 2 ホッパーを**ホッパー差し込み口**の上に載せます。ホッパーを取り付けるときは、ホッパー差し込み口の矢印とホッパー底部の矢印の位置を合わせて取り付けてください。
- 3 ホッパーをホッパー差し込み口に押し込み、スライダーを印のところまで押し入れます。スライダーが**ポジション2**でしっかりはまり、ホッパーをホッパー差し込み口の正しい位置に固定します。
- 4 ホッパーが正しく固定されたら、スライダーをさらに限界まで押し入れます。スライダーによりホッパーの中のコーヒー豆がグラインダー本体に落ちていく状態です (**ポジション3**)。フタをホッパーに戻します。

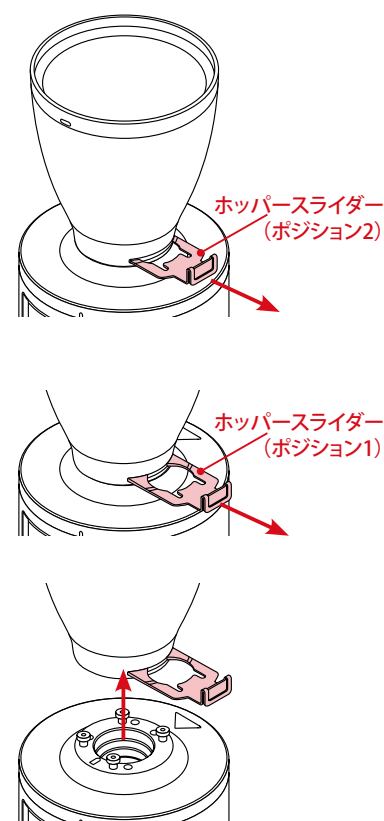


information

ホッパーが挿入できない、またはスライダーがホッパーを固定しない場合は、ホッパーを挿入したときにホッパーが正しく合っていなかったか、ホッパーが挿入されたときにスライダーがポジション1 (最大に引き出した状態) になかった可能性があります。→この場合、ホッパーの挿入の項の手順1と手順2をもう一度繰り返してから、ホッパーを押し込み、スライダーを押し入れて、ホッパーを固定してみてください。

6.3 ホッパーの取り外し

- 1 **ホッパースライダー**をホッパーのガイドから印のあるところまで引き出します。スライダーが**ポジション2**でしっかりはまり、ホッパーの中のコーヒー豆がグラインダー本体に落ちていかない状態です。
- 2 グラインダー本体に残っているコーヒー豆が空になるまで挽きます。
- 3 スライダーをホッパーのガイドから止まるところまで引き出し、ホッパーのロックを緩めます。ホッパーは、スライダーが**ポジション1** (最大に引き出した状態)にあるときのみロックを解除できます。
- 4 ホッパー差し込み口からホッパーを持ち上げて、グラインダーからホッパーを取り外します。スライダーは動きやすくなっていますので、スライダーが押し込まれた状態になると、ホッパーの中のコーヒー豆が落ちてしまいますので、ご注意ください。



6.4 コーヒー豆の充填

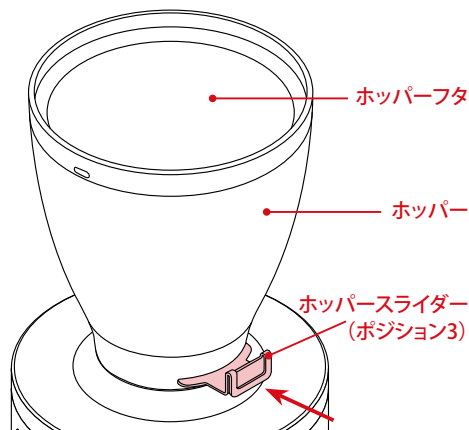


コーヒー豆は、必ずグラインダーにホッパーが取り付けられた状態で入れてください。→P11…5.2「ホッパーの挿入」 ホッパーに先に豆を入れてからホッパーを取り付けることはしないでください。

- 1 ホッパーからフタを外し、ローストしたコーヒー豆をホッパーの上部から入れます。
- 2 フタをホッパーに戻し、必要に応じて、ガイドのホッパースライダーを止まるまでホッパー内に押し入れます。スライダーによりホッパーの豆がグラインダー内部に落ちる状態になります



最大充填量は、ホッパーの縁の下約1cmです。



6.5 コーヒー豆の種類の変更

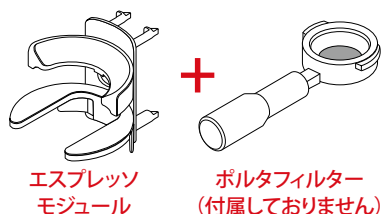
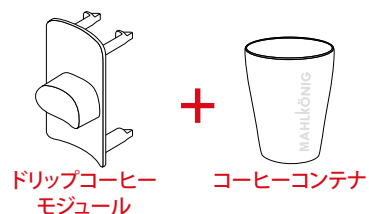
- 1 前に使ったコーヒー豆の入ったホッパーをグラインダーから取り外します。→P11…5.3「ホッパーの取り外し」
- 2 残ったコーヒー豆を取り除き、ホッパーをホッパー差し込み口に戻します。→P11…5.2「ホッパーの挿入」
- 3 新しい種類のコーヒー豆をホッパーに入れ、前のコーヒー豆の残留物を取り除くため、2～3杯分の豆を試し挽きしてください。

7 基本的な操作手順

7.1 モジュールの選択

2種類のモジュールが付属しています。

- 1 ドリップコーヒーモジュールは、コーヒーコンテナと一緒に使用します。
→P9…4.2「ドリップコーヒーモジュールの着脱」
- 2 エスプレッソモジュールは、ポルタフィルターと一緒に使用します。
→P17…8.2「エスプレッソモジュールの着脱」



7.2 操作手順の概要



7.2では、グラインダーを使用するための基本的な操作手順を簡単に説明します。

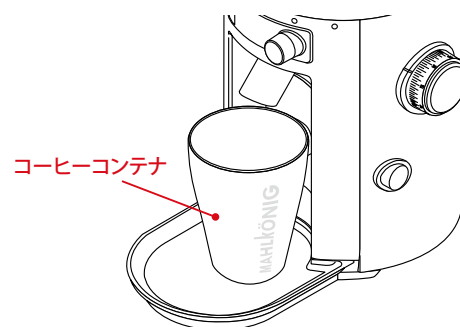
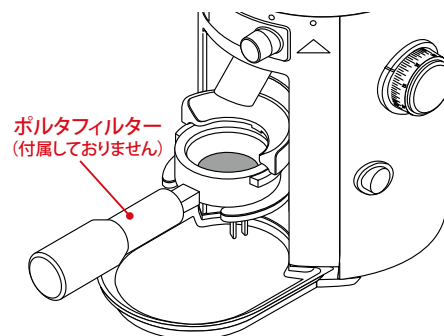
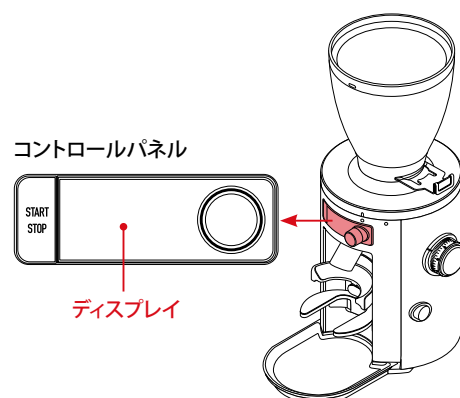
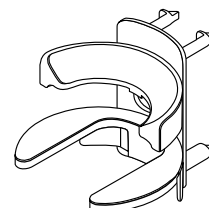
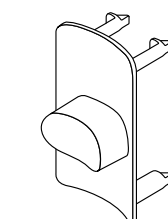
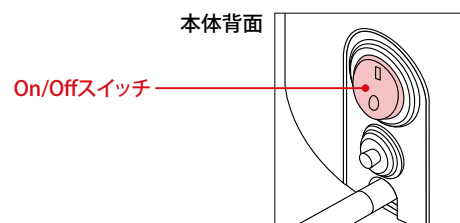
各項目の詳細については、それぞれの章で説明されています。

- 1 グラインダーの電源を入れます。
→P16…7.3「グラインダーの電源を入れる」
- 2 エスプレッソモジュールまたはドリップコーヒーモジュール、いずれか適切なモジュールを選んで挿入します。→P14…7.1「モジュールの選択」 P9…4.2「ドリップコーヒーモジュールの着脱」 P17…8.2「エスプレッソモジュールの着脱」



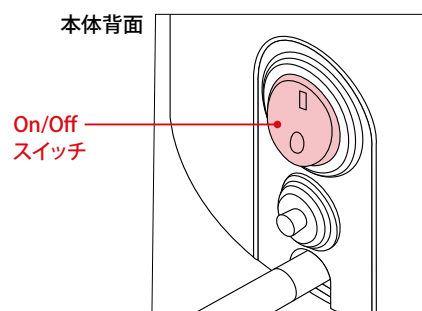
エスプレッソモジュールを装着した状態で、さらに設定を変更したい場合は、ポルタフィルターを挿入しないでください。ポルタフィルターを挿入すると、挽きプロセスが始まってしまいます。

- 3 目的の挽き時間または手動モードを選択します。→P16…7.4「挽き時間設定モード・手動モードの選択」すでに挽き時間や手動モードが希望通りに設定されている場合は、このステップをスキップしてステップ4に進んでください。
- 4 挽き目を設定します。→P19…9.1「挽き目の設定」すでに挽き目が希望通りに設定されている場合は、このステップをスキップしてステップ5に進んでください。
- 5 ポルタフィルターまたはコーヒーコンテナをセットして、挽きプロセスを開始します。→P16…7.5「挽きプロセスの開始」
- 6 手動モードの場合のみ：START/STOPボタンを押して、挽きプロセスを停止します。→P16…7.6「挽きプロセスを手動で停止または中断する」挽き時間に沿って挽く場合、設定した挽き時間が経過すると自動的に挽きプロセスが停止します。
- 7 挽いたコーヒーの入ったポルタフィルターまたはコーヒーコンテナを取り出します。



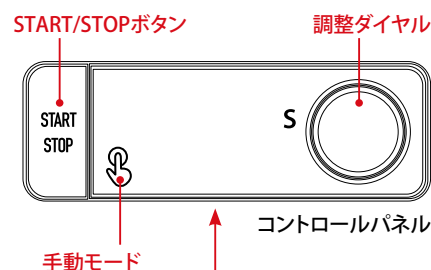
7.3 グラインダーの電源を入れる

- 1 グラインダーの電源が切れていることを確認してください。グラインダー背面の**On/Offスイッチ**がO (OFF) の位置になっている必要があります。その後、電源プラグをコンセントに差します。
- 2 On/OffスイッチをI (ON) の位置に回して、グラインダーの電源を入れます。最後に選択した挽き時間の番号またはスタート画面がディスプレイに表示されると、グラインダーは操作可能な状態です。



7.4 挽き時間設定モード・手動モードの選択

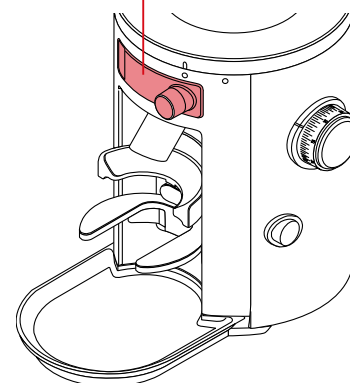
調整ダイヤルを時計回りまたは反時計回りに回して、ディスプレイに目的の挽き時間の番号 (1 から 4) を表示させるか、**手動モード**マーク (👉) を表示させます。



7.5 挽きプロセスの開始

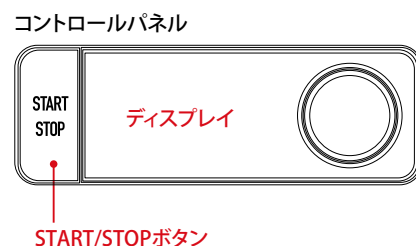


- 挽き時間設定モードで挽く場合、ディスプレイには設定された挽き時間の残り時間が表示されます。つまり、表示時間は減っていきます。
- 手動モードでは、ディスプレイには現在の挽き時間が出ます。つまり、表示時間は増えていきます。



7.6 挽きプロセスを手動で停止または中断する

手動モードか挽き時間設定モードにかかわらず、いつでも手動で現在の挽きプロセスを停止させることができます。挽きプロセスを開始した後、**START/STOPボタン**を押すと、**ディスプレイ**に表示されている時間表示*が停止し、およそ5秒間そのまま表示されます。停止した時間がディスプレイに表示されている間は、中断した挽きプロセスを再開することができます。



* 表示時間は、挽き時間設定モードの場合は設定された残りの挽き時間を、手動モードの場合はすでに経過した挽き時間を表示します。

• 中断していた挽きプロセスの再開は、通常の挽きプロセスを開始するときと同じ手順です。

→ P16...7.5「挽きプロセスの開始」

• 挽きプロセスを中断して5秒経過しますと、挽き時間はリセットされます。

8 エスプレッソコーヒー用に挽く

8.1 エスプレッソモジュールの高さ調整



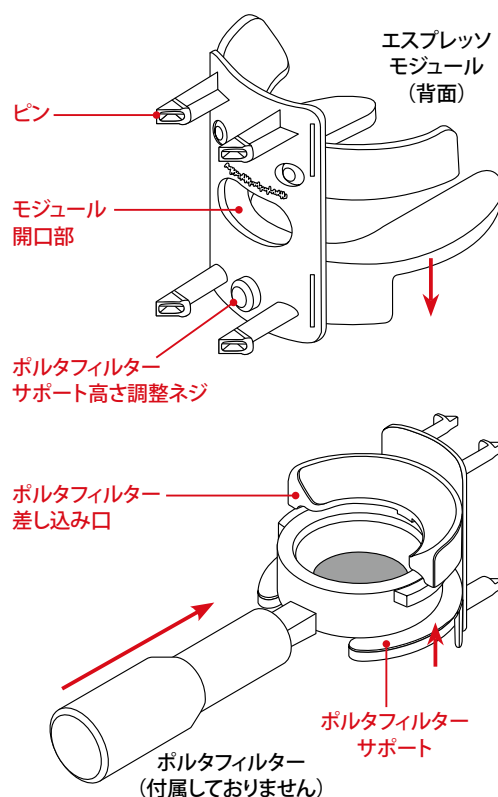
ポルタフィルターがエスプレッソモジュールにぴったりとはまるようにするには、ポルタフィルターサポートをポルタフィルターに適した高さに調整する必要があります。この設定は、エスプレッソモジュールを挿入する前に行ってください。

- 1 プラスドライバーを使って、**エスプレッソモジュール**の背面にある**ポルタフィルターサポート高さ調整ネジ**を反時計回りに回して緩めます。**ポルタフィルターサポート**を、一番下まで下げてください。

- 2 ポルタフィルターをエスプレッソモジュールの**ポルタフィルター差し込み口**に差し込みます。

- 3 ポルタフィルターがポルタフィルターサポート（下）とポルタフィルター差し込み口（上）の間にぴったりと収まるまで、ポルタフィルターサポートを上調整してください。

- 4 ポルタフィルターサポートを所定の位置に固定し、ドライバーを使ってポルタフィルターサポートのネジを時計回りに締めて固定します。



8.2 エスプレッソモジュールの着脱

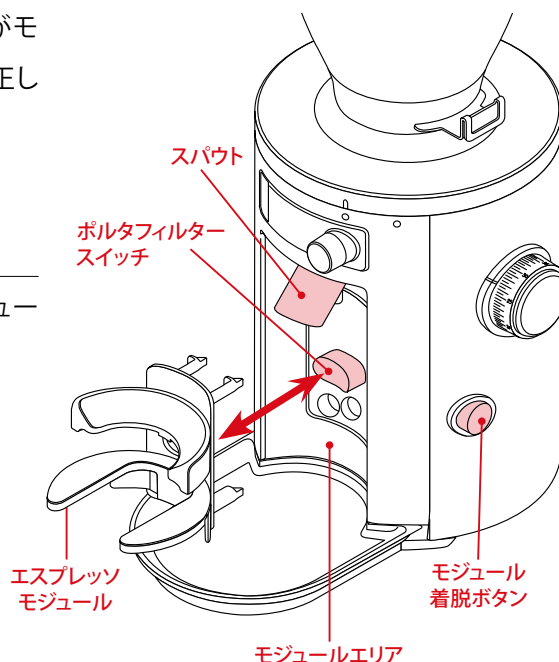
取り付け

- 1 **エスプレッソモジュール**を、**スパウト**の下の**モジュールエリア**に正しく合わせます。モジュールの背面にある2つのピンをモジュールエリアの対応する穴と合わせ、**モジュール開口部**が**ポルタフィルタースイッチ**の前になるようにします。
- 2 側面の**モジュール着脱ボタン**を押したまま、同時にモジュールをモジュールエリアに押し込みます。モジュールの背面にある4つのピンが、モジュールエリアの穴にスライドして入ります。モジュールエリアのポルタフィルタースイッチが、モジュールの開口部でスムーズにスライドするように取り付けます。

- 3 モジュール着脱ボタンを離します。モジュール背面のピンがモジュールエリアにはめ込まれ、エスプレッソモジュールが正しいポジションに固定されます。

取り外し

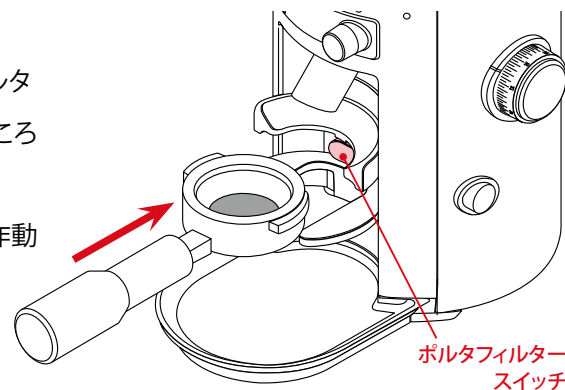
- 1 エスプレッソモジュールを取り外すには、側面にあるモジュール着脱ボタンを押し続けると、ロックが解除されます。
- 2 モジュールエリアからモジュールを前方向に慎重に取り外します。エスプレッソモジュールをモジュールエリアから引き出す際に、エスプレッソモジュールが傾かないようにしてください。
- ポルタフィルタースイッチがエスプレッソモジュールの開口部と接触しないよう、スムーズにスライドさせて取り外します。



8.3 エスプレッソモジュールによる挽き

ポルタフィルターを、ポルタフィルター差し込み口とポルタフィルターサポートの間に入れ、ポルタフィルタースイッチにあたるところまで挿入します

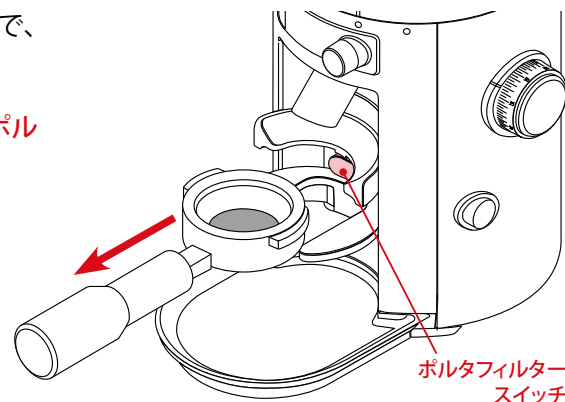
ポルタフィルターが挿入されると、**ポルタフィルタースイッチ**が作動して、自動的に挽きが始まります。



8.4 ポルタフィルターで挽きを手動で停止する

ポルタフィルターをエスプレッソモジュールから取り外すだけで、挽きプロセスが停止します。

ポルタフィルターを取り外すと、自動的に挽きが停止するので**ポルタフィルタースイッチ**が解除されます。



挽き目調整のおおよその目安は
→P19...9.1「挽き目の設定」

エスプレッソ
01～05

9 挽き目と挽き時間の設定

9.1 挽き目の設定



挽き目調整ダイヤルを使い、目的の挽き目を無段階で調整することができます。挽き目調整ダイヤルの一番細かい設定は「01」、一番粗い設定は「35」です。細挽きにすると1秒当たりに挽けるコーヒー粉量は少なくなります。

挽き目調整ダイヤルを回して、矢印のマークが挽き目調整ダイヤルの目的の挽き目を指すようにします。
挽きの調整のおおよその目安は以下の通りです。

エスプレッソ
01～05

ドリップコーヒー
15～25

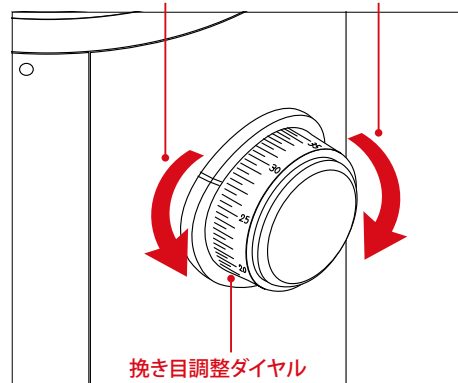
フレンチプレス
25～35



挽き目を調整したい時は、グラインダーを作動させながら挽き目調整ダイヤルを動かしてください。

反時計回りに回す
挽き目をより粗くする

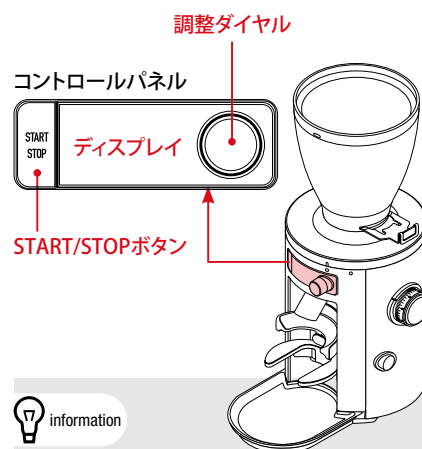
時計回りに回す
挽き目をより細かくする



9.2 挽き時間の設定と更新

新しい挽き時間を設定する場合、または既存の挽き時間を変更する場合は、以下の通り操作してください。挽き時間は0.1秒から90秒まで設定することができます。

- 1 調整ダイヤルを回して、ディスプレイに表示される目的の挽き時間の番号を選択します。→P16…7.4「挽き時間設定モード・手動モードの選択」
- 2 調整ダイヤルを長押しします(約2～3秒)。選択された挽き時間の番号に現在設定されている挽き時間がディスプレイ上で点滅し始めます。
- 3 調整ダイヤルをさらに回して、目的の挽き時間を設定します。小数点以下から1桁ずつ秒数を選択して調整ダイヤルを押して設定します。
- 4 もう一度調整ダイヤルを長押し(約2～3秒)し、新しく設定した挽き時間を確定します。新しく設定した挽き時間を確定させる前に**START/STOPボタン**を短く押すと新しい設定を破棄します。続いて、ディスプレイが自動的にスタート画面に切り替わります。

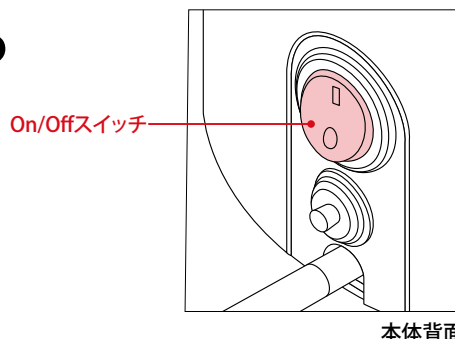


5秒以上何も設定しない(START/STOPボタン、調整ダイヤルを押さない・回さない)と、処理はリセットされます。

10 終了とスリープタイマー

10.1 グラインダーの電源を切る

使用終了後、またはグラインダーから目の届かないところに離れる場合には、電源を切り(On/OffスイッチをOの位置)、電源プラグを抜いてください。



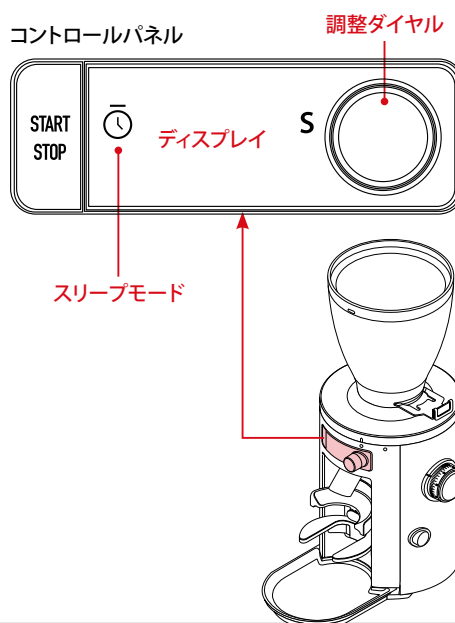
10.2 スリープタイマーの使用

- 1 必要に応じて、**スリープタイマー**の時間を設定したり、スリープタイマーを作動させたりしてください。

→P21…10.4「スリープタイマーの時間設定」

- 2 最後の使用から設定した時間が経過すると、起動していたグラインダーは自動的にスリープモードに切り替わります。**ディスプレイ**の表示がすべて消え、赤いランプが点滅します。

- 3 **調整ダイヤル**を押すか回すと、グラインダーはスリープモードから復帰します。続いて、ディスプレイが自動的にスタート画面に切り替わります。



スリープタイマーが作動しているときは、シンボルマーク(⌚)がディスプレイに点灯します。
スリープモードであっても、グラインダーのスイッチを入れたまま放置しないでください。

10.3 グラインダーを手動でスリープモードにする

- 1 マニュアルモードにして調整ダイヤルを長押ししてください(約2〜3秒)。起動していたグラインダーはすぐにスリープモードに切り替わります。ディスプレイの表示がすべて消え、赤いランプが点滅します。

- 2 調整ダイヤルを押すか回すと、グラインダーはスリープモードから復帰します。続いて、ディスプレイが自動的にスタート画面に切り替わります。



スリープタイマーを使わずに、手動でグラインダーをスリープモードにすることもできます。

10.4 スリープタイマーの時間設定



グラインダーにはスリープタイマーが内蔵されています。

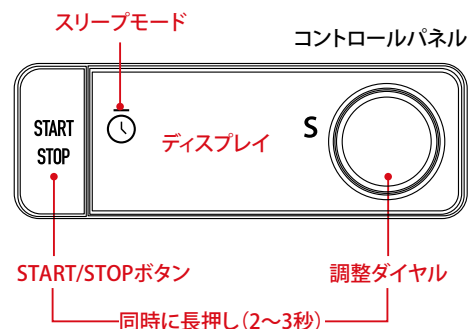
スリープタイマーの作動中は、最後の使用からあらかじめ設定した時間が経過すると、グラインダーが自動的に**スリープモード**に切り替わります*。→P20…10.2「スリープタイマーの使用」 スリープタイマーが作動しているときは、シンボルマーク(⌚)が**ディスプレイ**に点灯します。

*スリープモードでは、ディスプレイが消え、グラインダーの消費電力が抑えられます。

1 調整ダイヤルと**START/STOPボタン**を**同時に長押し**します(約2～3秒)。スリープタイマーの設定モードに入ります。ディスプレイに「__AUTO SLEEP in」という文字列が4段階で表示されます。

2 調整ダイヤルを時計回りまたは反時計回りに回して、スリープタイマーの目的の時間を選択します。スリープタイマーの設定で選択可能な時間は3分、5分、10分、20分、30分です。

3 もう一度調整ダイヤルを長押し(約2～3秒)して、スリープタイマーに設定した時間を確定し、スリープタイマーを作動させます。続いて、ディスプレイが自動的にスタート画面に切り替わります。



11 クリーニング

11.1 グラインダー底部のクリーニング



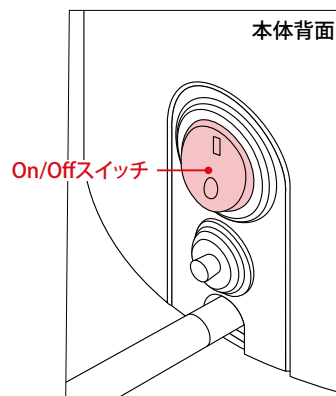
清掃を行う前には必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 グラインダーの電源を切り(**On/Offスイッチ**を0の位置に)、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 グラインダー本体を両手で持ち上げ、別の清潔な場所に置いてください。

3 湿らせた布で設置面とグラインダーの底部を清掃し、表面を乾かします。表面は乾燥していて、油脂分のない状態でなければなりません。

4 グラインダーを設置場所に戻します。



11.2 本体のクリーニング

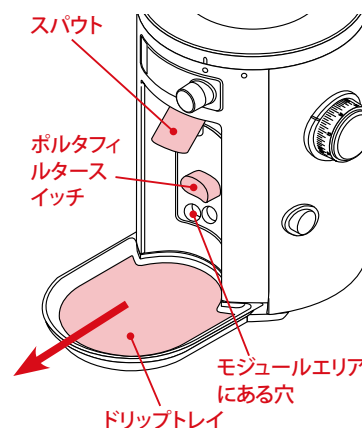
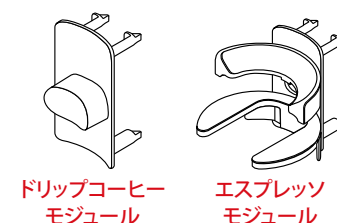
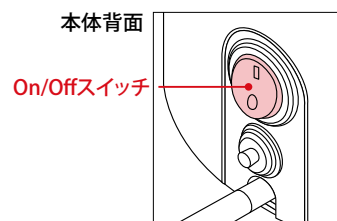


週に一度、本体を清掃してください。
ナイロン毛のブラシを使ったクリーニングを推奨します。



- 本体内部に洗浄液や水が入らないように注意してください。
- 住宅用洗剤や金属たわしなどの清掃用具は使用しないでください。
- 食器洗浄機は使用しないでください。
- ホッパーを持って本体を持ち上げないでください。

- 1 グラインダーの電源を切り(On/Offスイッチを0の位置に)、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 必要に応じて、取り付けられているモジュールをグラインダーから取り外します→P9…4.2「ドリップコーヒーモジュールの取り外し」 P18…8.2「エスプレッソモジュールの取り外し」
- 3 ブラシでグラインダーの以下の部分を清掃します。
•スバウト •ポルタフィルタースイッチ •モジュールエリアにある穴
- 4 ドリフトレイをグラインダーから前方に引き出します。その後湿らせた布で本体とドリフトレイを拭きます。

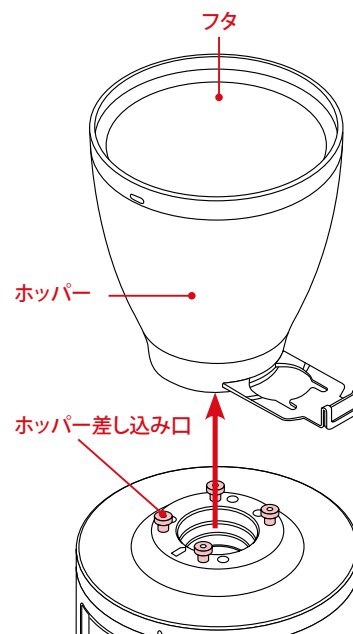


11.3 ホッパーのクリーニング



味に悪影響を与えるコーヒーオイルの残留物を取り除くために、ホッパーを定期的に清掃する必要があります*。

- 1 コーヒー豆の残りが入っているホッパーをグラインダーから取り外します。
→P13…6.3「ホッパーの取り外し」
必要に応じて、コーヒー豆を別の容器に一時的に移します。
- 2 湿らせた布でホッパーの内側と外側、さらにフタをきれいにし、もう一度すべてを乾燥させ、ホッパー差し込み口から余分な豆を取り除きます。
- 3 ホッパーをホッパー差し込み口に戻します。→P13…6.2「ホッパーの挿入」
その後コーヒー豆をホッパーに戻します。



*本体を清掃する間隔は、お客様の使用状況などによって異なります。頻繁に使用する場合は、少なくとも週に1回は本体を清掃してください。

*ホッパーを清掃する間隔は、お客様の使用状況などによって異なります。頻繁にホッパーを使用する場合は、毎日掃除するのが最善です。

11.4 挽き機構のクリーニング



週に一度、グラインダークリーナー「グラインツTM」でのクリーニングを推奨しています。天然素材を原料とし、口に入れても安心です。コーヒーオイルから発生する臭いと油分を除去します。挽き目や挽き時間によるコーヒー粉量が安定し、グラインドディスクの早期の摩耗を防ぎます。

1 挽き目調整ダイヤルを20前後に設定してください

→P19...9.1「挽き目の設定」

2 コーヒー豆の残りが入っているホッパーをグラインダーから取り外します→P13...6.3「ホッパーの取り外し」 コーヒー豆を一時的に別の容器に移して下さい。

3 ドリップコーヒーモジュールをモジュールエリアに取り付けます

→P9...4.2「ドリップコーヒーモジュールの取り付け」

4 グラインダークリーン(別売品) 30g(グラインダークリーンのフタすり切り1杯でおおよそ35gです)を挽き機構に入れます。

5 空のホッパーを取り付け、ホッパースライダーは挽き機構に対して閉じた状態のままにします(スライダーはポジション2)

→P13...6.2「ホッパーの挿入」

6 挽いたグラインダークリーナーを受けるために、スパウトの下にモジュールエリアにコーヒーコンテナを置きます。

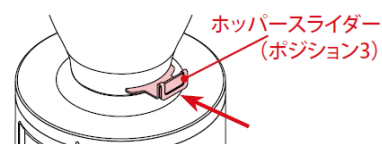
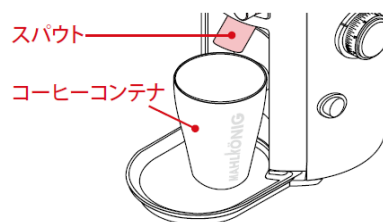
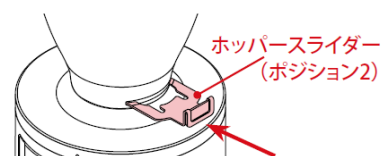
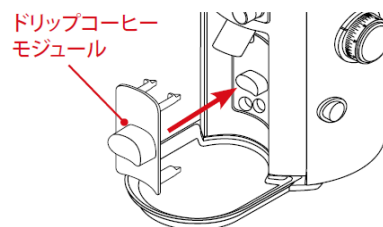
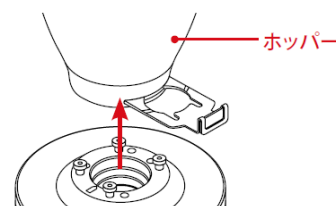
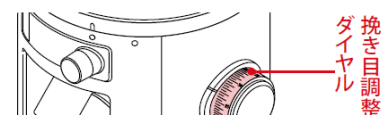
7 START/STOPボタンを押して挽きを開始し、グラインダークリーナーが完全に挽き終わったことを確認します。

8 ホッパーにコーヒー豆を35g入れ、スライダーをさらに限界まで押し入れます。スライダーによりホッパーが挽き機構に向かって開きます(ポジション3)。

9 ホッパーのコーヒー豆をすべて挽いてください。挽き終わりましたら、挽きプロセスでの目的の挽き目にグラインダーを設定します*。

10 挽いたグラインダークリーナーと挽いたコーヒー豆は、業務用・家庭用ごみとして廃棄してください。

*グラインダークリーナーがきれいに取り除かれていないと感じる時は、上記8から繰り返してください。



12 トラブルシューティング

問題点	原因・解決策
グラインダーが挽きを開始しない、ディスプレイが点灯しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていません。 電源プラグを適切に設置されたコンセントに差ししてください。 リセットボタン(過電流回路遮断器)が作動しました。 回路遮断器のリセットボタンが飛び出していないか確認してください。必要に応じて戻してください。 スイッチが何度も飛び出す場合は、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。 ブレーカーが落ちています。 家の分電盤のブレーカーを確認してください。必要に応じて、ブレーカーを元の状態に戻してください。 このブレーカーに他の負荷が接続されていないか確認し、接続されている場合は外してください。 ブレーカーが何度も落ちる場合は、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
グラインダーが挽きを開始せず、ディスプレイにE001、またはE002というエラーメッセージが表示されている。	ホッパーが挿入されていません。 ホッパーを挿入してください。 →P13…6.2「ホッパーの挿入」
ディスプレイにE003というエラーメッセージが表示されている。	グラインダーがマニュアルモードに自動的に切り替わります。 このエラーコードがついていると、このモードを終了させることはできません。 グラインダーの電源を切り、再び電源を入れてください。 →P20…10.1「グラインダーの電源を切る」 →P16…7.3「グラインダーの電源を入れる」
ディスプレイにE004というエラーメッセージが表示されている。	ディスプレイのLEDが壊れました。 1.グラインダーの電源を切り、再び電源を入れてください。 →P20…10.1「グラインダーの電源を切る」 →P16…7.3「グラインダーの電源を入れる」 2.電源を入れ直した後、ディスプレイに表示されるスタートアニメーションを見て、問題のあるLEDを見つけてください。 3.メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
ディスプレイにE008というエラーメッセージが表示されている。	ログファイルで製品識別ができない。 1.グラインダーの電源を切り、再び電源を入れてください。 →P20…10.1「グラインダーの電源を切る」 →P16…7.3「グラインダーの電源を入れる」 2.メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
ディスプレイにE010というエラーメッセージが表示されている。	グラインドディスクが摩耗し、挽く部分の材質が劣化しています。 グラインドディスクの交換が必要です。メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
グラインダーから音はするが、挽きが行われていない。	挽き機構が詰まっています。挽かれた豆が細かすぎます。 1.挽き目調整ダイヤルを35に設定します。 →P19…9.1「挽き目の設定」 2.挽きプロセスを開始します。 →P16…7.5「挽きプロセスの開始」 グラインダーがリセットされます。 3.続いて、操作時の目的の挽き目にグラインダーを設定します。 グラインダー本体にコーヒー粉が詰まっている可能性があります。 1.スパウトをきれいにしてください。 →P22…11.2「本体のクリーニング」 2.挽き目調整ダイヤルを35に設定します。 →P19…9.1「挽き目の設定」 3.挽きプロセスを開始します。 →P16…7.5「挽きプロセスの開始」 グラインダーがリセットされます。 4.続いて、操作時の目的の挽き目にグラインダーを設定します。 挽き機構に異物が入っています。 メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
グラインダーの挽きの細さが十分ではない。	グラインドディスクが摩耗しているか、再調整が必要です。 メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
連続して挽きを行わない、または挽きプロセスが断続的に止まる。	ポルタフィルタースイッチが故障しています。 メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
グラインダーの計量の精度が低下している。	スパウトが詰まっています。挽いたコーヒーが多すぎて、グラインダーの中で溜まり固くなっています。 1.スパウトをきれいにしてください。 →P22…11.2「本体のクリーニング」 2.挽き目調整ダイヤルを35に設定します。 →P19…9.1「挽き目の設定」 3.挽きプロセスを開始します。 →P16…7.5「挽きプロセスの開始」 グラインダーがリセットされます。 4.続いて、操作時の目的の挽き目にグラインダーを設定します。 グラインダーのスパウトが損傷しています。 メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
ホッパーを所定の位置に置けない。	ホッパー差し込み口に豆があります。 ホッパー差し込み口から豆を取り除きます。
挽き目調整ダイヤルが回らない。	ホッパーに豆が入った状態では、挽き目調整ダイヤルを粗挽きから細挽きに回すことはできません。 ホッパーを空にし、挽き機構の豆を挽き切ってから、挽き目調整ダイヤルを回してください。

13 メンテナンスと修理



●修理には専門的な知識と技術が必要です。誤った修理は火災や感電などの危険な事故につながりますので、お客様ご自身による修理はおやめください。

●メンテナンスや修理を実施する際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてから実施ください。定期的にマシンの電源プラグ、グラインダー本体などにダメージがないかをご確認ください。

●グラインダーのパフォーマンスが低下し、挽いた粉の温度が高い場合は、グラインドディスクの交換が必要な場合があります。ディスクの交換はメリタジャパンお客様相談室にご相談ください。



●P24「トラブルシューティング」の一覧表をお調べいただいてもなお異常がある場合は、事故防止のためグラインダーの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、メリタジャパンお客様相談室にご連絡ください。その際、品名とお買い上げ時期をお知らせください。

●26ページに記載している本製品の別売品に関して、修理時に別途ご請求する可能性がありますのでご了承ください。

メリタジャパンの安心・安全な修理サービスのご案内

弊社にて修理を行う際は、お客様ご自身が修理機の一時保管場所を確保したり、自ら梱包して玄関先まで運ぶ必要はありません。修理が終わったグラインダーはお届けの際に設置場所に設置させていただきます。グラインダーをお預かりしてご返却するまでの間、以下の手順で安心安全に取扱います。北海道・本州・四国・九州・沖縄本島を除く離島はサービス対象外となります。サービス対象エリアかどうかご不明な場合には、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

修理機のお引き取り手順

- 1 修理のご依頼はメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせ下さい。修理受付・修理機をお引き取りする日時を確認させていただきます。
- 2 メリタジャパンテクニカルセンターからお客様にご連絡をさせていただき、不具合の箇所をお聞きしてグラインダーのお引き取りの手配を進めます。
- 3 お引き取り日までに、ホッパースライダーを閉じて、グラインドディスクとホッパー接合部の間に残っているコーヒー豆を挽き切ってください。ホッパーに残っているコーヒー豆は、ホッパーを取り外して保管をお願いします。
- 4 修理機のお引き取り日当日、弊社指定のアートセッティングデリバリー株式会社からお客様にお引き取りに伺う時間帯をご連絡させていただきます。
- 5 弊社指定のアートセッティングデリバリー株式会社では、梱包資材を持参し、グラインダーを設置場所から降ろし、安全に梱包して運び出します。配送員が梱包している間に配送伝票の記載をお願い致します。

修理完了後のご返却手順

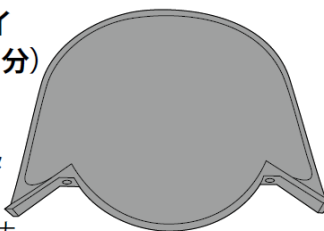
- 1 弊社からお客様に修理完了の旨をご報告し、グラインダーのご返却手続きをさせていただきます。
- 2 弊社指定のアートセッティングデリバリー株式会社がお預かりしたグラインダーのご返却に伺います。ご不在時には再配達させていただきます。
(早朝・深夜の時間帯等、ご希望に添えない時間帯がございますのでご了承ください。)
- 3 弊社指定のアートセッティングデリバリー株式会社では、ご返却の際、グラインダーをご希望の設置場所に設置し、梱包資材を回収させていただきます。

14 別売品

ドリップトレイ (本体台座部分)

品目コード
40802

スパウト、ポルタ
フィルター、
コーヒーコンテナ
からこぼれたコー
ヒー粉を受ける



ホッパー (フタ付き)

品目コード

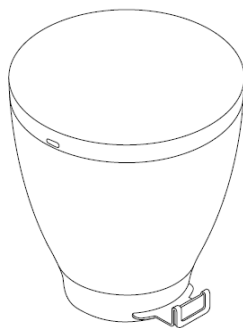
43193

(250gホッパー)

40803

(500gホッパー)

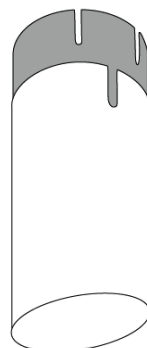
コーヒー豆を入れて保管する
ホッパーフタのみの販売はしていません



スパウト

品目コード
40804

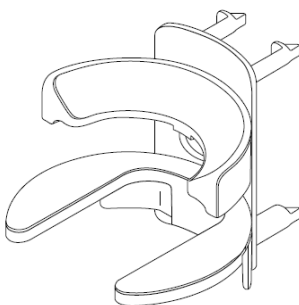
コーヒー粉を
ポルタフィル
ターコーヒー
コンテナに
落とす



エスプレッソ モジュール

品目コード
40805

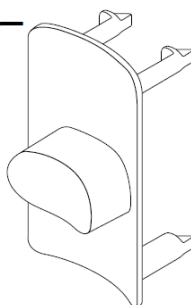
ポルタフィル
ターをセットして
コーヒーを挽き
たい時に本体に
セットする



ドリップコーヒー モジュール

品目コード
40806

コーヒー粉を
コーヒーコンテナ
で受けたい時に
セットする



コーヒー コンテナ

品目コード
40807

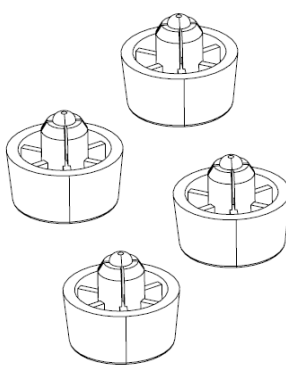
コーヒー粉を
受ける



足 4個セット

品目コード
322700727

グラインダー
本体底面に取り
付けてグライン
ダー本体を
安定させる



グラインダー クリーン450g

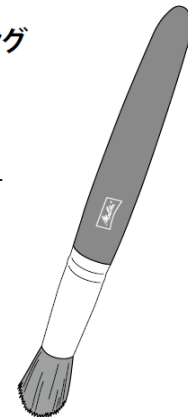
品目コード
46377
挽き機構清掃用



クリーニング ブラシ

品目コード
37459

グラインダー
外観清掃用



仕様

モデル名	X54
電圧・周波数	100V、50/60Hz
消費電力量	120W
アイドリング回転速度	1,050rpm
保護タイプ	IPX1
保護等級	I
作動音(挽いているとき)	65dB(A)

挽き能力(細～粗)	1～2.8g/s*
最大許容運転サイクル	10秒(ON時)、50秒(OFF時)
推奨中断時間	50秒
コーヒー粉を挽く量/日	1.7kg*
寸法(幅×奥行×高さ)	19 X 28 X 37.8cm
重量(本体)	5.1kg
コーヒー豆ホッパーの最大容量	250g

*選択するコーヒー豆の種類、設定する挽き目、および電源周波数によって異なります。記載されている値は「最大許容運転サイクル」のタイムインターバルにおける最大処理量です。

15 保証規定(保証書)

- この商品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための必要な部品)は製造打切後、最低5年間保有しています。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。そのほか詳細は保証書をご覧ください。

保証規定

- お客様の正常なご使用状態で、保証期間中(お買い上げ日より1年間)に故障した場合は、無料修理させていただきます。その際、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げ販売店またはメリタジャパンお客様相談室にご依頼ください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - イ)使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - ロ)お買い上げ後の移動、設置、落下、あるいは輸送による故障および損傷
 - ハ)火災、塩害、ガス害、異常電圧、および地震、雷、風水害、その他の天災地変などによる故障および損傷
 - ニ)本書のご提示がない場合
 - ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合

- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

- ご転居の際は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、本書に記入されたお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へお問い合わせください。
※アフターサービスと保証についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へご相談ください。

ナビダイヤル ☎ 0570-550267

※通話料はお客様負担となります。

[受付時間]9:00~12:00 / 13:00~17:30 ※土・日・祝日・年末年始は除く

®Registered trademark of a company of the Melitta Group

保証書

この商品には「保証書」が付いています。

- 保証対象は本体のみです。
- 保証書は販売店からお渡しいたします。必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みになったうえで大切に保管してください。
- 万一、故障したときは、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が取り次ぎ無料修理いたします。
※電気系統の故障以外(破損など)は保証対象外です。

品名		ホームグラインダーX54	
お買い上げ年月日		保証期間	
年 月 日		本体1年	
お客様	〒		
ご住所	TEL ()		
ご氏名	フリガナ		
販売店	★この欄に販売店によるご記入がない場合は無効となりますので必ず記入の有無と捺印をご確認ください。		
店名			
住所	TEL () 印		

販売店様へのお願い

保証書に必ずご購入日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

販売者 メリタジャパン株式会社

Melitta®
JAPAN

●この保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内の修理やその後のアフターサービスに利用させていただく目的から記録に残す場合がありますのでご了承ください。 ●修理や配送を当社から協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供することはありません。

